

事業報告書 (No. 31)

1 支援団体名	NPO法人 日本水フォーラム
2 事業名称	アジア・太平洋水サミット(広報冊子の作成)
3 実施日時	平成19年10月1日～平成19年12月30日
4 実施場所	大分県を中心に国内
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>第1回アジア・太平洋水サミットの資料として、大分県内の代表的な水環境と水文化を紹介する冊子を制作・発行する。この冊子をサミット会場やサミット後に使用することにより、大分の水環境を国内外に発信するとともに、日本の水文化に対する経験と知識をアジア太平洋諸国の水環境問題解決のための資料として活用することを目的とする。タスクフォース的な”大分の水の研究グループ2007”を組織し、集中的な企画制作を行う。</p> <p>・冊子の概要 A4サイズ/32ページ/オールカラー/1,300部</p> <p>内容 写真を中心にビジュアル的な構成</p> <p>大分の代表的な水の景観・産業・郷土料理・生物などを紹介</p> <p>各ページに九州や国内、アジア太平洋との共通点を発見できる事例</p> <p>写真を挿入し、身近な視点から国際的な水問題への啓発を図る</p> <p>(実施事業効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア・太平洋水サミットの参加者に対する大分県の水環境の認知 ・ 大分県及び九州の水文化と環境の再評価 ・ 海外に向けた日本の水文化と水環境保全のアピール ・ 日本人が長い時間をかけて作り上げてきた「水の利用と防御」の知恵をアジア・太平洋地域での水問題解決に役立てるためのネットワーク構築 ・ アジア・太平洋水サミット開催地である大分県の今後の水環境政策策定への活用などの効果が期待される。
6 参加内訳	<p>総人数 編集スタッフ 8名 配布対象者 約1,000名</p> <p>(1)主催者参加 名</p> <p>(2)日本人参加((1)を除く) 名</p> <p>(3)外国人参加((1)を除く) 名</p>
7 今後の方針	<p>水サミットを一過性のもので終わらせず、今後の国内外の水問題の解決のために、様々な主体が積極的に行動することが望まれる。そのためにも海外と国内をつなぐための資料は重要であり、本冊子をそのような位置づけのもと、様々な水環境保全の場で活用したい。身近な水から、国内・アジア太平洋・地球環境へのスケールを広げた視点の提供は、楽しい発見と啓発を兼ね備えられる。</p> <p>今回は、時間的、予算的にも限定された中での発行であるが、今後内容の充実を図り、再発行するなどの展開も期待できる。</p>

第1回アジア・太平洋水サミット記念 冊子(サンプル)

